授業科目	簿記入門					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	池口　功晃						
授業概要	複式簿記の構造、簿記一巡の手続、株式会社会計について理解する。授業前半では複式簿記の構造に関する総論的・各論的な知識を得ることができる。また、授業後半では会計処理および表示方法について理解することができる。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．簿記一巡の手続を説明できる。 2．基本的な取引を仕訳できる。
理想的レベル	日商簿記検定試験 3 級を合格し得る知識を身に付けること。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	50%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	T011302J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業前に教科書を読んでくること。	4

授業計画	
第 1 回	・授業ガイダンス ・簿記の基礎～日常の手続き
第 2 回	商品売買
第 3 回	現金・預金・小口現金
第 4 回	クレジット売掛金・手形取引・電子記録債権債務
第 5 回	貸付金・借入金、有形固定資産
第 6 回	仮払金・借受金、訂正仕訳
第 7 回	決算整理その１（現金過不足）
第 8 回	決算整理その２（貯蔵品、売上原価）
第 9 回	決算整理その３（貸倒れ）
第 10 回	決算整理その４（減価償却）
第 11 回	決算整理その５（経過勘定項目）

第 12 回	決算整理後残高試算表、精算表
第 13 回	帳簿の締切、損益計算書・貸借対照表
第 14 回	株式発行と余剰金
第 15 回	税金と証憑書類
テキスト	『合格テキスト日商簿記３級』TAC 出版 『合格トレーニング日商簿記 3 級』TAC 出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に随時紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点後、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	授業外の学習が大切になりますので、授業後は練習を積み重ねてください。